

「自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」

好きです!山中

学校便り第9号 平成29年11月8日

SNSメディア研修会 ～ 子どもの発達とSNS ～

山鹿中学校区の11の幼稚園・保育園、4つの小学校、そして山鹿中学校で組織する連携協議会での合同研修会を実施しました。近年、スマートフォンやタブレット、ゲーム機器等の急速な発達とともに、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、様々な問題も心配されます。協議会では、昨年アンケートを実施し、実態を把握するとともに、研修会を開催し、子どもたちが各種メディア機器とどのような関わり関わっていくか、大人の責任として考える機会を重ねています。今回は、熊本大学医学部附属病院の野村先生に、小児科医の立場で講話していただきました。前半は、各種機器から発する光の刺激が、視力・脳の発達・睡眠に及ぼす影響についてお話があり、後半はSNSメディアと上手につき合うために、発達段階に応じた対応を中心にお話をいただきました。

- 初めて機器を持つときに、家庭でのルールを決めておく
- パスワードは保護者が管理する ●常時持たせるのであれば年齢制限をかける
- 幼児では、お金がかかること、時間制限を教える
- SNSに関連した事件・ニュースを親子で共有し、一緒に問題点を考える

最後に、「SNSメディアは便利ですが、危険性もあります。子どもたちには、保護者の責任のもと適切に使用させましょう。決して、SNSメディアを子守代わりにしないでください。」との結びがありました。ネットを通じて事件に巻き込まれたり、いじめの問題もあります。今一度、「SNSメディア機器」について、学校・家庭でともに考えていきましょう。



本校の内田教諭からは、アンケートをもとに実態説明、提案がありました。

- ・山鹿市内の5歳児の7割がスマホを使用している。
- ・ルールやマナー、モラルを守ることが自分を守ること。
- ・「時間を区切る」「次に何をするか」を考えておく。
- ・スマホ1日2時間使用。受験勉強を考えるなら、スマホを切らずして合格なし!

「基本的な生活習慣の定着と自己管理能力の育成」を目指していきましょう!

